

■ ■ ジャーナリスト・作家の手嶋龍一さんがあしべつ応援大使に就任



10月29日、道の駅スタープラザ芦別レストラン「ラ・フルール」で星の降る里あしべつ応援大使委嘱状交付式が行われ、本市出身で外交ジャーナリスト・作家の手嶋龍一さんに委嘱状が手渡されました。

同大使は、芦別市の魅力を全国にPRするため、本市にゆかりがあり広く活躍する方に委嘱するもので、

NHKワシントン支局長などの経歴を持ち、メディアや執筆で活躍する手嶋さんは6人目の大使となります。

手嶋さんは、「道内屈指の運動公園や温泉など、まちの大きな潜在能力のPRやふるさと納税の企画立案などで微力ながらお手伝いしていきたい」と話していました。

■ ■ 2023年あしべつフォトコンテストの入賞者が決まりました

10月30日、「星の降る里あしべつフォトコンテスト2023」の表彰式が商工会議所で行われました。

今回で6回目となる同コンテストは、芦別の魅力を写真で伝える「一般部門」と「インスタ部門」の2部門があり、一般部門には69作品、インスタ部門には103作品の応募があ

り、表彰式には8人が出席しました。

坂田会頭は、「作品はどれも魅力が伝わり、選考にはとても苦労しました」と評しました。

入賞作品は、「星の降る里芦別カレンダー2024」に採用され、壁掛けカレンダーと卓上カレンダーとして商工会議所等で販売しています。



■ ■ 発達した低気圧による大雨・暴風を想定した防災訓練を実施



11月7日、野花南生活改善センターで防災訓練が実施されました。

4年ぶりに行われた今回の防災訓練は、発達した低気圧による大雨・暴風を想定して行われ、野花南町内会や芦別警察署、防災関係機関など約30人が参加しました。

訓練では、地域を巡回して避難者

を救出し地域避難所まで誘導。受け入れ時のチェックや感染防止対策の訓練、非常用発電機の始動体験を行いました。また、屋内では段ボールベッドや避難所用間仕切りテントの組立訓練も行われ、ケガ人の応急処置体験など、参加した皆さんは真剣な表情で取り組んでいました。

■ ■ つきたてのお餅に舌鼓、子ども餅つき会が開催

11月11日、児童センターで子ども餅つき会が開催されました。

コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった餅つき会は、親子など約100人が参加しました。

今回、芦別市もち米生産組合から新米のもち米30kgの寄贈を受け、本町地区子ども育成連合会や民生委員

児童委員協議会、更生保護女性会、母親クラブのメンバーが参加し、子どもたちをサポートしました。

子どもたちは交代で力いっぱい「ヨイショ、ヨイショ」声をかけながらきねを振るっていました。

つき上がった餅は、お汁粉にして味わっていました。

